ブルーイノベーション株式会社

第 27 回定時株主総会 質疑応答要旨

2026 年 3 月 27 日開催の当社定時株主総会における株主の皆様からのご質問と、当社からの回答の要旨を掲載いたします。

Q：社外取締役の設置状況について教えてください。

A：当社は監査等委員会設置会社であり、現在、監査等委員である取締役 3 名全員が社外取締役で構成されております。これらの社外取締役は、取締役会において議決権を行使できる立場にあり、外部の客観的な視点から経営を監督する機能を十分に果たしていると認識しております。

Q：防災分野に注力しているとのことですが、防衛（軍事）分野への対応や、技術の転用についてはどのように考えているか教えてください。

A：当社が取り組む防災分野と防衛分野は、技術的に共通する「デュアルユース（軍民両用）」の側面が非常に強いと認識しております。例えば、当社の津波避難広報ドローンシステムなどは、その有用性から防衛分野からも注目され、情報交換を行う機会がございます。現在は防災利用を主軸としておりますが、今後は市場動向を注視しつつ、防災の観点から貢献できる領域があれば、当社の技術を転用・活用していくことも検討してまいります。なお、防衛関連の具体的な案件については機密性が極めて高いため、詳細の説明は差し控えさせていただきますが、適切なタイミングで開示してまいりたいと考えております。

Q：通信に対するジャミング（電波妨害）などのへの対策状況について教えてください。

A：通信におけるジャミング対策については、現時点において国内では大きな脅威として顕在化している状況ではなく、当社の提供する災害対応システムにおいても特段の対策は講じておりません。一方で、サイバーセキュリティの重要性は認識しており、通信技術に関する研究開発を進める中で、適切な対策の導入を検討しております。また、機能追加によるコスト増とのバランスも踏まえ、運用面も含めた最適な提供形態を検討してまいります。

以 上